

ひとつひと通信は平川の分身がお客様のところへ直接お届けに伺う。という気持ちでお届けしています。当然ですが無料です。

どつどーど通信

2021年12月19日發行

225号

「ひとつと通信」は略してひとつ。いつも読んでいて好きあります。

実は43年前、中学生の時、初めて買ったレコードが原田真二さんのアルバム、「Feel Happy」です。今聴いてもまったく古さを感じさせない、天才ミキシングです。30名ほどの小さな会場でしたので、でかいずぶるーす、キシジテ、ネドーボクサ、タイム・ト・スルなど名曲の数々を目の前で聴けて感動しました。予想はしていましたが、周りは女性ばかり。妻に「いいで来てもらって良かっだ。(笑) では今月もはりきっていきましょう!」

はそんなに甘くないです。比白さん、上手な方ばかりで、改めて自分のレベルを知ることが出来て、大変有意義な一日となりました。語学の勉強は、認知症の予防にもなるそうで、これから私のピッタリです。(笑)

すべては自分の心の通りに見える

前号で「営業は売りたい気持ちを消すことが大切です。そのためには、目の前のお客様を自分の愛する人、例えば両親、妻、夫、子供、祖父母と思うのが、コツです」と書きました。すると多くのコメントをいただきましたので、関連した体験談を書きります。ちよと想像

してもらえますか？あなたは四人の友達と居酒屋に行きました。そして店員さんに料理とドリンクを注文しました。すると「確認のため、ご注文を繰り返します」と二つづつ復唱されました。その時あなたは、店員さんの方を向き、うなずきながら聞き、間違いなけれど「はい、OKです」と返事をされますか？適当に「はい、はい」とうなずく人、面倒くさうにする人、スマホをいじじって聞いてりない人。こんな場面を見たことはありませんか？かくいう私も身に覚えがあります。おっくうに感じたのです。復唱の15秒も待てない人間でした。お恥ずかしい。ところがです。あることをきっかけに「店員さんの声にきちんと耳を傾けよう」と強く思ふようになります。それは息子が居酒屋でアルバイトを始めたから。「あー、きっとこんな感じで頑張っていいんだろなあ」と思つたら、面倒くさうな態度は取れなくなりました。も、と言えば私がとった態度は、回りまわって息子が受けることになります。すべてつながっています。また日本にはチップの文化がないので、常に財布に500円の図書カードを入れ、対応が気持ちいい学生の店員

「なんに」「これ少ないけど参考書を
買う足しにして下さい。頑張ってね」
と「こっそり渡すようになりました。
一瞬驚いた顔をされますが、「あり
がとうござります」と笑顔で言わ
れると、心がほっこりします。
またコンビニでレジに三、四人並ん
でいる時も、一生懸命に対応してい
る店員さんを自分の子供と思え
ば、イラライラはしません。
電車の中でお年寄りに
席を譲ることも、両親や
祖父母など思えば、ためらうこと
なくサッと出来ます。
目の前の人を愛する人だと思えば、
今まで見えなかたものが、見えてく
るようになります。大人にならに
つれ、現実を追うようになり心で
見ることを忘れてしましました。
すべては自分らの通りに見え
るのですね。

「心で見なくちゃ、もの
ことはよく見えない、
てことさ。肝心なこと
は、目には見えないん
だよ」

(サン=テグジュペリ作
「星の王子さまより」)

発行／有限会社アサム
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
Tel:092-321-4001 Fax:092-321-4002
・専門学校&スクールサーチ：<http://www.asamnet.jp/>
・ブログ：<https://itorinri.com/>

ご感想や楽しいメッセージをお待ちしています。 X-16: hirakawa@asam.jp FAX: 092-321-4002

X-11: hirakawa @ asam.jp

FAX: 092-321-4002